

| | | | |
|---|---|---------|---------------|
| 科目名 (英文表記) | アカウンティングⅡ (コストマネジメント) (Accounting Ⅱ) | | |
| 科目区分 | 基礎科目 | 単位数 | 2 単位 |
| 担当教員名 | 堺 昌彦 | ナンバリング | MBA_C_AC 5221 |
| 研究室番号 | 444 | 研究室電話番号 | 27-5352 |
| Eメール・アドレス | msakai@res.otaru-uc.ac.jp | | |
| 授業の内容及び方法： 次頁以降に記載 | | | |
| 授業の目的： 組織における経済活動を合理的に計画しコントロールするにあたって、原価情報は不可欠である。原価計算の重要な役割の1つは製品の原価を計算することであるが、原価計算の役割はそれだけに留まらない。目的に対して適切な概念と技法を用いることによって、原価計算は、組織における計画、コントロール、および意思決定において有用な経済的情報を提供することができる。本授業では、このような原価計算の理解を深めるために以下の事項をとりあげる。 <ol style="list-style-type: none"> 1. 原価計算の意義と基礎知識 2. 製品原価計算の基本構造 3. 標準原価計算とその活用 4. 活動基準原価計算 (ABC) 5. サービス業における原価計算と顧客収益性分析 6. 原価企画と源流管理による原価低減 7. 意思決定のための原価計算 到達目標としては、戦略策定や業務改善のさまざまな局面において適切な原価情報がどのようなものかを理解し、またそれらの局面において適切な原価情報を活用することでより合理的な意思決定を行えるようになることである。 | | | |
| 使用教材： 授業で用いるテキスト、資料、課題については適宜配布する。 | | | |
| 成績評価の方法： 授業への出席 (10%)、事前課題・事後課題 (30%)、授業への参加度 (10%)、小テストおよび最終試験 (50%) を総合的に判断して評価する。 評価に不服のある場合には、不服申立書を以て、教務委員長に申し出ること。 | | | |
| 履修上の注意事項： ・「アカウンティングⅠ (財務会計)」(基本科目) が履修済であることを前提とする。 ・各モジュールの内容は変更することがある。 | | | |

授業の内容及び方法

| モジュール 1 原価計算の意義と基礎知識 | |
|--|---|
| 事前準備 | 事前に配布された資料を精読し、指示された事前課題の解答を作成して授業にのぞむこと。 |
| 第1時限 | オリエンテーション及び原価計算の意義 |
| 本授業の概要と進め方を説明する。 さまざまな原価計算の目的と、そこで用いられる原価情報が異なることを解説する。 | |
| 第2時限 | 製品原価の計算Ⅰ（原価計算の基礎知識Ⅰ） |
| 製品原価を計算する基本的な流れとそこで用いられる用語・概念を解説し演習を行う。 | |
| 復習 | 指示された課題について、解答レポートを事後課題として提出。 |

| モジュール 2 製品原価計算と原価計算の基礎知識 | |
|---|---|
| 事前準備 | 事前に配布された資料を精読し、指示された事前課題の解答を作成して授業にのぞむこと。 |
| 第3時限 | 製品原価の計算Ⅱ（原価計算の基礎知識Ⅱ） |
| 前モジュールの内容について小テストを行う。 正常配賦の手続および意義とそこで用いられる用語・概念を解説し演習を行う。 | |
| 第4時限 | 製品原価の計算Ⅲ（原価計算の基礎知識Ⅲ） |
| 部門別計算の手続および意義とそこで用いられる用語・概念を解説し演習を行う。 | |
| 復習 | 指示された課題について、解答レポートを事後課題として提出。 |

| モジュール 3 | | 標準原価計算とその活用 |
|---|---|-------------|
| 事前準備 | 事前に配布された資料を精読し、指示された事前課題の解答を作成して授業にのぞむこと。 | |
| 第5時限 | 標準原価計算および原価差異分析 | |
| 前モジュールの内容について小テストを行う。 実際原価計算の問題点から、標準原価計算の概要と意義について解説する。 標準原価計算及び原価差異分析の手続について解説し演習を行う。 | | |
| 第6時限 | 標準原価計算の活用 | |
| 標準原価計算を活用した原価管理について解説とディスカッションを行う。 | | |
| 復習 | 指示された課題について、解答レポートを事後課題として提出。 | |

| モジュール 4 | | 活動基準原価計算 |
|---|---|----------|
| 事前準備 | 事前に配布された資料を精読し、指示された事前課題の解答を作成して授業にのぞむこと。 | |
| 第7時限 | 活動基準原価計算（ABC） | |
| 前モジュールの内容について小テストを行う。 伝統的な原価計算の問題点から、ABCの概要と意義を解説し演習を行う。 | | |
| 第8時限 | 活動基準原価管理（ABM） | |
| ABCを活用した原価管理（ABM）について解説とディスカッションを行う。 | | |
| 復習 | 指示された課題について、解答レポートを事後課題として提出。 | |

| モジュール 5 | | サービス業における原価計算と顧客収益性分析 |
|---|---|-----------------------|
| 事前準備 | 事前に配布された資料を精読し、指示された事前課題の解答を作成して授業にのぞむこと。 | |
| 第9時限 | サービス業における原価計算 | |
| 前モジュールの内容について小テストを行う。 サービス業における原価計算について解説とディスカッションを行う。 | | |
| 第10時限 | 顧客収益性分析 | |
| ABC を活用した顧客収益性分析について解説し演習を行う。 | | |
| 復習 | 指示された課題について、解答レポートを事後課題として提出。 | |

| モジュール 6 | | 原価企画と源流管理による原価低減 |
|---|---|------------------|
| 事前準備 | 事前に配布された資料を精読し、指示された事前課題の解答を作成して授業にのぞむこと。 | |
| 第11時限 | 原価企画 | |
| 前モジュールの内容について小テストを行う。 源流管理の意義と原価企画の手続について解説しディスカッションを行う。 | | |
| 第12時限 | 源流管理による原価低減 | |
| 源流管理の考え方をを用いて ABC を活用した原価低減活動について演習を行う。 | | |
| 復習 | 指示された課題について、解答レポートを事後課題として提出。 | |

| モジュール 7 | | 意思決定のための原価計算 |
|--|---|--------------|
| 事前準備 | 事前に配布された資料を精読し、指示された事前課題の解答を作成して授業にのぞむこと。 | |
| 第13時限 | 意思決定における原価概念、技法 | |
| 前モジュールの内容について小テストを行う。 意思決定において適切な原価概念（収益概念）および手続について解説し演習を行う。 | | |
| 第14時限 | 設備投資の意思決定 | |
| 設備投資の意思決定における考え方について解説しディスカッションを行う。 | | |
| 復習 | 指示された課題について、解答レポートを事後課題として提出。 | |

| モジュール 8 | | 試験 |
|--|-------------------------|----|
| 事前準備 | これまでの授業の内容について復習しておくこと。 | |
| 第15時限 | 最終試験 | |
| これまでの授業で取り上げた内容についての理解を確認するための試験を実施する。 | | |